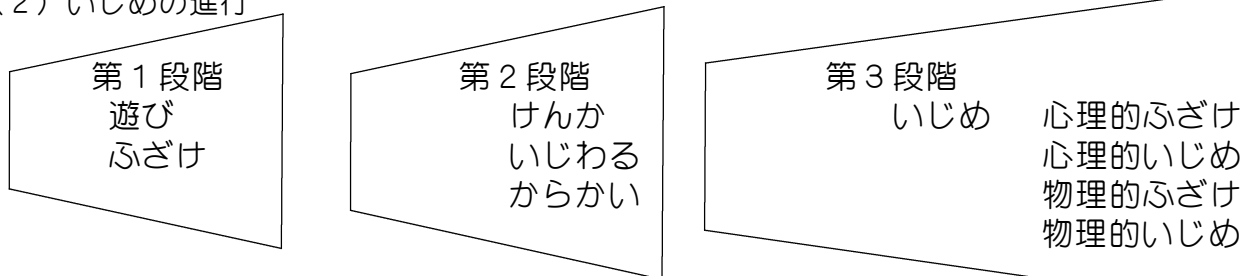


いじめの理解

(1) いじめとは何か

児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

(2) いじめの進行



(3) いじめの変遷

発生と内容 変遷過程	「いじめ」の態様・内容		
	いじめられる側 個の行動・状況	いじている側 複数の行動・状況	
群れ遊び	◎遊びや生活をとおして、互いにふざけたり・じゃれ合ったり・いさかいがあつたりする。（「遊び仲間」対等・平等関係）		
学校の対応・関係機関との連携	初期 萌芽	・度重なるふざけ・からかいなどを不快に感じるようになる（支配・服従関係の萌芽）	・立場を入れ替えながら、ふざけ・いじわる・からかいなどを行うようになる（支配・服従関係の萌芽）
	前期 恐れ	・多人数による「いじめ」に恐れを感じるようになる（支配・服従関係の成立）	・ターゲットを固定し、仲間を誘い複数で「いじめ」を繰り返す（仲間の存在、安心感）
		訴え	・周囲の仲間、友達の行動や態度が気になる（いじめのサイン）
	中期 諦め	・無関心を装い、傍観的な態度の友達を見て「訴え」を諦める（見て見ぬふりをする人間関係）	・周囲の動向を見定め、仲間に「いじめ」を示唆、命令する（自己のいじめ隠蔽）
	後期 無力	・親や教師に訴えた後の報復や暴力などを極端に恐れる（訴える気持ちにならない状況）	・暴力行為等をしばしば繰り返す（本人及び周囲の友達に対する「チクリ」の防止策）
		自尊	・「いじめ」そのものの事実を自ら否定する（自尊感情の動揺）
	末期 否定	・耐えきれず「自殺・転校」等を考えるようになる（自己否定の考え方の実行）	・暴力行為や金品の強要などが学校内外でますます激しくなる（「無法」といえる状態への発展・継続）

(4) いじめの態様

手段によるいじめ

- ① 言葉での脅し
- ② 冷やかす・からかい
- ③ 持ち物隠し
- ④ 仲間はずれ
- ⑤ 集団による無視
- ⑥ 暴力をふるう
- ⑦ たかり
- ⑧ お節介・親切の押しつけ
- ⑨ いやな行為の強要
- ⑩ パソコン等での誹謗中傷 等

動機によるいじめ

- A 怒りや憎しみからのいじめ
- B うつぶん晴らしからのいじめ
- C 性格的な偏りからのいじめ
- D 関心を引くためのいじめ
- E 隠された楽しみのためのいじめ
- F 仲間を引き入れるためのいじめ
- G 違和感からのいじめ
- H その他

構成によるいじめ

I 単独

II 数名

III 大勢